

第3回学校運営協議会を開催しました

11月30日（水）に、令和4年度第3回学校運営協議会を開催しました。

今回は、第2回学校運営協議会での熟議を受け、十小の児童と地域の方の交流活動「昔の遊び」を学校運営協議会の企画で実施しました。第十小学校の6年生と1年生、そして、六郷主婦連・多々良主婦連の方々、主任児童委員・民生委員の方々、区長さん、副区長さん、学校運営協議会委員が参加して、けん玉、あやとり、おはじき、お手玉をして遊びました。



交流活動終了後、本年度3回目となる学校運営協議会を開催しました。

学校運営協議会の出席者

近藤区長	西公民館長	館林市国際交流協会会長	学校支援ボランティア代表
六郷地区青少推会長	第十小学校見守り隊代表	主任児童委員	西公民館活動推進委員
第十小学校長	第十小学校教頭	C Sディレクター	館林市教育委員会

協議のテーマ 「コミュニティ・スクールとしてのこれまでの取り組みと今後の展望」

協議での主な意見

- 今日の交流で、地域の方が一生懸命子どもたちに教えてくださっている姿を見て、子どもたちは非常に貴重な体験をすることができたと感じました。
- 今日の交流では、6年生が1年生の面倒をよくみてくれていました。地域の方もすごく喜んでいて、「またやりたいな。」という声が多く聞かれました。
- 今日の「昔遊び」で、直接体験して、声を掛け合って、意義のある交流ができました。子どもたちにとっても地域にとってもよい時間でした。こんな交流が継続できるといいと思いました。
- 触れ合った子どもたちが素直に大きく育ってくれたらいいなと思って見守っています。
- 公民館として、地域の皆さんと学校が結び付くような窓口としての役割が果たせればいいと考えています。これからも学校と協力しながら進めていきたいと思っています。
- 学校の取り組みを紹介したビデオを見て、十小の地域性や学校の様子を客観的に捉えられ、よさや課題がよく見えました。
- これからは学校教育プラス社会的な教育が必要で、学びが多様になると思います。学校でいろいろ考えて、改善を図って、社会で必要な力を付けていけるようにしていってほしいと思います。地域住民として協力できることはできる限りやっと思いしています。
- 十小のコミュニティ・スクールとしては、そろそろ十小ならではの取り組みというものができてもいいと思います。ある程度長いスパンで、他のところにはない十小だけのものを作っていくことで、コミュニティ・スクールのねらいにせまっていけると思います。地域性や学校の特色を加味しながら、来年度あたりから継続性のあるものやっと思いしています。
- 4回目の学校運営協議会では、来年度どうしていくか皆さんからお話を伺い、今後どんな交流をしていくとか、十小ならではの活動でどんなことができるとか、ご意見をいただきたいと考えています。また、次の学校評価は、教職員と話をし、評価をしていただこうと考えています。

